

# 議員と語りかい 報告書

( 総務文教常任委員会 ) (No.1)

開催日時	平成26年8月19日 (火) 曜日 18時30分～20時15分		
開催場所	議会棟 第3・4委員会室		
団体名	霧島市消防団	参加人数 (男:女)	15人 (15:0)
出席議員 (9)人	池田 綱雄, 有村 隆志, 平原 志保, 阿多 己清, 中村 正人 松元 深, 塩井川 幸生, 池田 守, 前川原 正人		
役割分担	班 長 (池田 綱雄) 副班長 (有村 隆志) 記録係 (有村 隆志)		
テーマ及び具 体的な内容	1. 霧島市消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する施策について 2. 消防団員の確保, 消防団の装備の改善, 消防防災体制における消防団の位置付け等について		

今回出された二つのテーマは、関連があるので、合わせて意見交換を行った。

## 全体に係る意見

◆火事に備えての操作訓練を常日頃から行い、団員の士気高揚が大事と考える。操法の県大会等へは、市を代表しての参加であることから、ほとんど自費で行っている団運営の実情を考慮していただき、大会に要する費用を支援してほしい。

【議員】市への要望を早く出していきたい。

◆消防団の中核は部長であるが、一番苦勞している部長の研修などの機会を持ちたいので、支援をしてほしい。

【議員】大会に要する費用と一緒に要望してはどうか。

◆消防団員の確保について、防災力を強化するためにも地域に欠かせない存在であるので、魅力ある制度や募集のアイデア等に、もっと知恵を出してほしい。

【議員】学生が入団することで、将来の消防士や社会人になってからの再入団につながるので、それを検討してはどうか。さらに、広報誌や新聞広告等で団員募集の掲載をしてほしいとの要望があったことを伝える。

◆防災行政無線が聞こえなくて、消防団員を速やかに招集できない。モーターサイレンは故障【牧園方面隊】しており、市は修理しないとの回答だった。現実に見合うように、手動でサイレン吹鳴をして、団員を招集させてほしい。

【議員】防災無線が聞こえない点は、安心安全課に調査を要望し、場合によっては消防団幹部との話し合いの場を設けるよう要望する。

◆倒木がある場合、チェーンソーは必需品であるが、備品としてないため自己の所有物を使っている。各詰所に備品として装備してほしい。

【議員】要望があったことを消防局に伝える。

#### 各方面隊に係る意見

◆隼人分遣所の敷地が狭く、操法の練習ができないため、2年に1回の操法大会の練習は、家畜市場が空いているときに借りている現状である。非常時に備えて通年して訓練できるように、分遣所の一部を広げてほしい。【隼人方面隊】

【議員】費用対効果などの問題もあるが、消防局に伝えておく。

◆第4分団（牧之原）の詰所が老朽化し、また団員も増加して全員が入れない状態であるので、建て替えはできないのか。【福山方面隊】

【議員】市では、予算要求され計画もあるので、しばらく待っていただきたい。要望は消防局にも伝える。

#### 議会側から

消防団の皆様には、地域の住民の生命・財産を災害から守るため、昼夜を問わず御尽力いただいていることに対し、心から敬意を表し、感謝申し上げます。

「消防団を中核とした地域防災力の充実化に関する法律」の第8条に、消防団を地域防災力の中核として、欠くことのできない存在であると規定され、国も重要視しているので、今後とも消防団活動をお願いしたい。

また、今回の内容については、必要に応じて、所管事務調査をしていきたい。